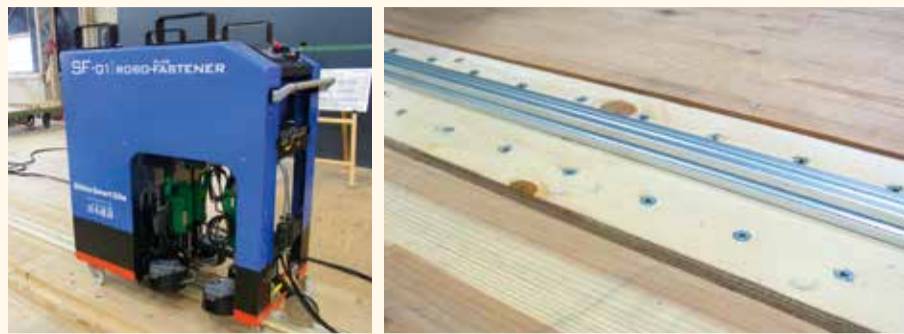


仙崎鐵工所

未経験業界ながら大手と連携

町工場×清水建設でビス打ち自動化装置



精密製缶業、仙崎鐵工所(川崎市川崎区小田、☎044-333-4434)が建築施工の生産性向上を目指し、ビス打ち作業の自動化を目的とした生産性向上ツールの開発を、清水建設と連携して進めている。単純で負荷の大きい連続作業はロボット、段取りや作業後の確認作業は人手に分担。手作業と比較して約4倍の作業効率向上を実現できたという。人気が高まる木造建築の需要増をにらみ、まずは国内の木造床版工事での実装を目指す。

連装の自動ビス打ち機「Robo Slab-Fastener(ロボ スラブ ファスナー)」は、4台の電動ビス打ち機を連結して自走式台車に搭載した作業ロボット。新しい木造建築材として注目される「CLT(クロス・ラミネイテッド・ティンバー)」を使う床版工事での活用を想定し、清水建設の次世代建築生産システムを現場実装した。サイタ技研(埼玉県川口市)が設計を担当した。

人手では電動ビス打ち機を使っても1日で最大1200本打てればよいのだが、このロボットを使えば1時間程度で終了。長時間の稼働でも作業性は下らない。手や腰の負担が大きい床へのビス打ちも楽になり、労働環境改善にもつながるといふ。

仙崎鐵工所は、鉄道や宇宙関連、産業用機械装置などで主に一品一様の精密製缶を手掛ける企業。最大10tのクレーンを操り、1mmで誤差±1mmという精度で、大型製品の加工や組み立てを実現

する。その道25年以上の優れた技能を持つ職人を川崎市が認定する「かわさきマイスター」に選ばれた社員も2名在籍する。

当初は自動化装置製作会社との共同開発を模索していたが、オーバースペックであることがネックとなり断念。必要な技術を有する企業を探したところ、川崎市産業振興財団が清水建設を仲介した。工場には清水建設の開発担当者も足を運び、二人三脚で開発を進めてきたという。

「もともと精密製缶で培った技術を異なる業界向けにも生かすことができました」と、沼りえ社長は話している。



4月に取材した
コロナ禍でも
頑張る
中小
企業

マーク電子

優秀新技術・新製品賞で優良賞に

医療現場の負担、IoT技術で軽減



独自の市場性に富んだ新製品や新技術・新ソフトウェアを表彰する「第33回中小企業優秀新技術・新製品賞」(りそな中小企業振興財団、日刊工業新聞社主催)で、医療機器製造、マーク電子(相模原市緑区橋本台、☎042-774-4131)が開発したスマート型点滴管理ツールが優良賞を受賞した。応募が約330件あった中での受賞となった。

同社の点滴ツール「DR-MARK(ドクターマーク)」は、第二弾となる自社製品で、今夏までの発売を予定する。点滴中の状況をリアルタイムで遠隔モニタリングできる小型IoTツール。自動車の衝突防止システムなどに採用されている「マイクロ波ドップラーレーダー」を使用し、滴下を検知。流量や滴下異常、点滴終了を知らせる。これにより、医療現場の負担軽減に役立てるとともに、医療品質の向上にも役立てる。

同製品は大手企業で技術や海外営業、マーケティングなどを経験し、中



途入社した相馬邦造 技術部課長の発案で2019年8月から開発に着手。医療現場の看護師らは、患者に投与された点滴の流量に異常がないかを定期的に見回り確認している実態があるため、センサーやIoT技術で負担を減らせないと考案したという。

「私たち中小企業にとって開発は、一発一発が勝負です」と、技術出身の大津恭男社長も背中を押した。受賞を受け相馬課長は「自分の(新製品の)アイデアが理解され、うれしく思っています」と語った。発売前から注目度も高く、すでに全国の医療現場が興味を示しているという。



林技研

メンテナンスにも注力

プレス金型をワンストップで



林技研(綾瀬市深谷中、☎0467-79-4410)は、プレス用金型の分野で設計から生産、メンテナンスまでを一手に担うワンストップサービスを提供する。自動車とオフィス機器向けの金型(量産用)製造をメインとする企業で、昨年11月に元銀行マンの尾崎敬介社長が代表に就任し、事業を承継した。

1981年の創業以来、一貫してプレス用金型にこだわる。約20人の従業員の中で、何人もの熟練職人を抱えている。また、社内トライ体制も整えており、設計から生産まで、焼き入れ工程以外はほぼ内製化を実現しているという。「新規の金型は、国内だけでなく、海外での量産向けも生産しています。日本の金型メーカーとして、技術力



には自信があります」(尾崎社長)と語る。一方、メンテナンスは、他社が製造した金型に対するものでも受けている。金型は、長く使用すると劣化するため、メンテナンスは不可欠。新規に金型を生産するよりもコストが安くなるとしており、顧客のコスト圧縮需要にもこたえ、ものづくりの現場を支えている。

ア・ドマニー

デリバリーメニュー拡充

一人専用オードブル開発



相模原市内で洋食店と懐石・会席料理店を運営するア・ドマニー(同市中央区相模原、☎042-756-6633)は、デリバリーメニューを拡充させた。新開発の「一人専用オードブル」などをメニューに加えた。コロナ禍で立食パーティーなどができない中、少人数の会合でも豪華な気分を味わってもらおうと、企業や施設に届ける。大切なお客様の来社時のランチとしても出せる。

同社は老舗レストラン「ア・ドマニー」と懐石・会席料理「志むら別館」を運営。レストラン運営のほか、仕出しやケーターリングも柱としているが、コロナ禍の影響を受けている。そこで、レストランの本格料理

とオードブルを広く味わってもらおうと、昨年からデリバリーを始め

ている。おかずを含め計100種類に及ぶメニューから、目的によって料理が選べる。新開発した「一人専用オードブル」(2484円)は、鯛塩焼きやエビチリ、ローストビーフなど、和洋中の料理が計15種類入っている。2段(3780円)もある。

1万円以上の注文の場合、相模原市内は無料で届ける。志村英昭社長は「今後も季節や記念日ごとに新メニューを考えてお届けしたいです」と話している。



社長さんが知っておきたい
冠婚葬祭のマナー

新型コロナウイルスの脅威が依然として続く中、不安な日々をお過ごしのことかと思えます。

さて、今回は皆様の不安を少しでも和らげられればと、コロナ禍の葬儀参列について家族の方々からお問い合わせがあった事例をご紹介します。

Q. 自粛中の葬儀で親族はどこまで声をかけたらよいですか?

A. ご家族ごとに違いはありますが、現在の状況で会葬者は可能な限り少人数となるよう、公共の施設である火葬場から推奨されており



大人の知恵袋⑤
～コロナ禍の葬儀参列って?～

故人や喪主と交流の深かった親族や、長距離移動の少ない地域に住んでいる親族、そして、故人のお孫さん位までを目安に判断されるケースが多いです。

Q. 葬儀の参列をご遠慮いただきたい場合どうしたら良いですか?

A. 心苦しいですが参列を辞退する場合、近い親戚であれば、亡くなった時点で訃報を伝えて、「このような状況なので、近い家族のみで行うことにな

した」と言い添えましょう。故人や喪主の勤め先や知人には、「葬儀前に訃報を伝えずに、葬儀後に連絡する」か「葬儀前に訃報を伝える際に、参列辞退の旨を伝える」という主に二つの方法がありますので、葬儀社や家族とよく相談の上、状況に応じて明確に辞退の意思をお伝えしましょう。

Q. お見舞いをお断りしていた方々に、せめて最後は見送って欲しい場合、どのようにしたらよいですか?

A. 故人や喪主の交流関係が広がった場合には、一般の参列者へもお声がけするという方もいらっしゃいます。その場合、受付時間を親族と一般で分けてご案内することで、参列の時間を分散する方法や、近親者のみでの密葬を済ませ、後日偲ぶ会を執り行うという方法もありますので、ご家族や葬儀社とよく相談のうえ、万全の対策を取りましょう。最後に、新型コロナウイルスにより、葬儀を行う際にも新しい生活様式が求められております。お見送りの形もさまざまですが、みなさまのご協力のもと無理のないよう、新しい形を受け入れて、行動していくことが大切なことと思います。

今回も、参考にしていただけますと幸いです。(fami友葬・清水ふじ代)

KeNSiN 株式会社 建新 ALL-win 神奈川県No.1住環境企業へ
https://www.kensin-inc.com/ TEL: 0120-954-326

経営 財務 営業 人事
ワンストップで問題解決。
社長の相談役
神楽坂コンサルティング株式会社
www.kuruzo.com/ ☎03-4570-0655

サイマ? 誰と会ってもサイマ?!
安定の守備力とは
株式会社 サイマコーポレーション
〒251-0047 神奈川県横浜市港北区2-9-17

中小企業のDX化ならご相談ください
ATLIKE株式会社
川崎市幸区柳町24-1
contact@atlike.co.jp

情報漏洩を完全にシャットダウン!
データ消去の事ならお任せください!
上場企業・官公庁からの依頼実績多数!
リ・バース株式会社
お気軽に お問い合わせください ☎044-223-7820 9:00~17:30 (土日祝除く)

ポストコロナ時代 自分を守る! 社員を守る!
HTシルバー10
抗菌 抗ウイルス水 ノンメカ
人、金属、樹脂、衣類にもやさしい
HTシルバー10
お買い求めの方はこちら
メティサイエンス・エスピア株式会社
川崎市幸区新塚1-2-2502
TEL 044-511-2214